

令和4(2022)年度栃木県指定管理鳥獣捕獲等事業  
評価報告書(ニホンジカ)

栃木県環境森林部 自然環境課

## 基本評価シート（ニホンジカ）

### 1. 事業の基本情報

事業名	令和4(2022)年度特定鳥獣保護管理事業 (実施計画策定のための調査等)		
	令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 (ニホンジカ・イノシシの捕獲等)		
	令和4(2022)年度「森の番人」確保育成事業 (認定鳥獣捕獲等事業者等の育成(初心者向け講習会等))		
	令和4(2022)年度認定鳥獣捕獲等事業者支援事業 (認定鳥獣捕獲等事業者の育成(従事者向け研修、パンフレット作成等))		
都道府県名	栃木県	担当者部・係名	環境森林部 自然環境課 野生鳥獣対策班
担当者名	長谷川	担当者連絡先	TEL 028-623-3261
捕獲実施事業者	(一社)栃木県猟友会 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">認定を受けている</span> ・ 受けていない)	予算額	11,490,282円
		予算額の内捕獲に 要する経費	5,645,164円

### ○令和4(2022)年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

#### 〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
捕獲目標頭数 60 頭	121 頭	201%

#### 〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数 (令和元年度末)	特定計画管理目標	目標生息頭数 (令和5(2023)年度末)
27,900 頭	年間捕獲数 8,000 頭	11,800 頭
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
2,744 頭	8,315 頭	1,946 頭

※推定生息頭数及び目標生息頭数は、令和2(2020)年度推定時の数値

(参考) 特定計画策定のために令和2(2020)年度に生息数推定を行った結果、令和元(2019)年度末の生息数は27,900頭となり、令和4(2022)年度の年間捕獲数を8,000頭に設定している。

### ○これまでの個体群管理の取組み(都道府県単独事業)

「シカ・イノシシ捕獲強化事業」(県単独事業)により、市町が実施する有害捕獲に要する経費の一部を支援している。

2. 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>栃木県では、日光国立公園内における自然植生への影響が顕在化した平成6(1994)年度に特定計画を策定し、捕獲の推進及び農林業等の被害防止対策に取り組むとともに、その状況をモニタリングしてきた。</p> <p>令和2(2020)年度にモニタリングのデータ等から生息数を推定したところ、平成25(2013)年度末で34,200頭と推定され、10年後に個体数の半減を図るためには年間8,000頭の捕獲が必要と予測された。</p> <p>上記の捕獲目標の達成に向け、県が自ら捕獲を行うことにより捕獲数を上積みするとともに、効率的な捕獲技術を実証し普及を図ることにより捕獲を推進するため、特定計画において指定管理鳥獣捕獲等事業を活用することを位置づけ、事業を実施した。</p>
	<p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和4(2022)年8月15日～令和5(2023)年3月24日 (うち捕獲を行う期間：令和4(2022)年9月8日～令和5(2023)年3月24日)
実施区域	日光市(足尾地区、千手ヶ原地区)
関係機関との協力	関係市町及び利害関係者の賛成を得て事業を実施している。
事業の捕獲目標	(201%達成) = ( 121 頭 実績値) / ( 60 頭 目標値)
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃                      <input type="checkbox"/> 巻き狩り                      <input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング              <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他(捕獲個体の止めさし)</p> <p>【わな猟】</p> <p><input type="checkbox"/> くくりわな(ICT)                  <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな(ICT)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな(ICT)</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部(尾)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(捕獲個体に通し番号をスプレーし撮影)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> その他(忍び猟については目視確認)</p>
捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <p><input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。</p>
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。</p> <p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：くくりわなの構造に関する対策)</p> <p>※輪の直径が12cm以内で、締付け防止金具を装着したものであり、ワイヤーの直径が4mm以上であって、かつ、よりもどしを装着</p> <p><input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。</p>

	鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	表示板等により注意喚起を行った。
捕獲従事者の体制	<b>【雇用体制】</b> 捕獲従事者数：7人 (内訳) 正規雇用者：0人、期間雇用者：0人      日当制：7人

### 3. 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

#### ○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点	
【目標達成】	評価： 目標達成率は201%であった。奥日光地域における忍び猟では、捕獲目標は達成出来たが、シカの警戒心が上がったため、捕獲頭数は前年度を下回った。ICTわなによる捕獲については、わなの設置場所を精査することにより、目標を達成できた。
	改善点： 忍び猟については実施区域等を見直し、捕獲頭数の上積みを図る必要がある。
【実施期間】	評価： ニホンジカの季節移動や地理・気象条件等を考慮し、効率的に捕獲できる秋期～冬期に実施しており、適切と思われる。
	改善点： 特になし。
【実施区域】	評価： 条例等の制限や地理条件により、積極的に捕獲が実施されていない地域であり、適切と思われる。
	改善点： 特になし。
【捕獲手法】	評価： 足尾地域で実施した忍び猟においては、短期間で集中的に実施することで、効率的に捕獲することができた。ICTを活用した箱わな・囲いわなによる捕獲では、ICTを活用しない従来のわな猟よりも、見回り作業等を省力化することができ、特に囲いわなでは、複数頭同時に捕獲することで、効果的に捕獲を実施することができた。
	改善点： 特になし
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価： 捕獲従事者について、必要な人数を確保するとともに、2名以上の体制で安全に捕獲を実施しており、特段の問題はないと思

	われる。
	改善点： 特になし
【個体処分】	<p>評 価： 捕獲個体は、基本的に焼却または埋却により適切に処理することとしているが、急峻な地形で実施する忍び猟については、捕獲個体の回収が困難であることから、放置することとしている。なお、忍び猟はクマが活動しない冬期に実施するとともに、自動撮影カメラを用いて、放置した個体の捕食状況等を経過観察するなど、生態系に与える影響に配慮しながら事業を実施した。</p>
	改善点： 特になし
【環境配慮】	<p>評 価： 銃猟に関しては、猛禽類等への鉛中毒を防ぐため、非鉛製銃弾を使用した。わな猟に関しては、止めさし作業において銃弾を使用することはなかった。また、錯誤捕獲があった場合にはイノシシを除き原則放獣することとしており、特段の問題は無いと思われる。</p>
	改善点： 特になし
【安全管理】	<p>評 価： 表示板等による注意喚起等の安全対策を講じており、事故の発生や地域住民からの苦情もなく、適切に実施した。</p>
	改善点： 特になし
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
特になし	
4. 全体評価	
<p>奥日光地域はシカの生息密度が高く、これまで捕獲が積極的に行われていなかったことから、令和元(2019)年度から忍び猟により捕獲に取り組んできた。シカの警戒心が上がったことや例年より雪解けが早かったこと等により捕獲頭数は昨年度を下回ったものの、ノウハウが蓄積されるとともに積雪の状況に応じて捕獲場所を選定したことにより、捕獲目標を達成することができた。なお、地域値と比較すると高い捕獲効率を示したことから、シカが越冬地として集中的に利用する時期に効率的に捕獲を実施することができた。</p> <p>一方 ICT を用いたわな猟では、見回り作業等の省力化を図ることができた。また、わなの設置場所を精査することにより、捕獲目標を達成することができた。</p> <p>捕獲の実施体制については特段の問題はなく、適切に事業を実施した。</p>	

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

本事業による捕獲頭数は121頭であり、令和4(2022)年度の捕獲頭数13,126頭の0.9%程度であるが、第二種特定鳥獣管理計画の捕獲目標(8,000頭)への上積みに寄与した。また、栃木県内では広く普及していないICT箱わな及びICT囲いわなによる捕獲手法のノウハウを蓄積することができた。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input type="checkbox"/> 行政区域(都道府県・市町村)ごと <input type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5kmメッシュ <input type="checkbox"/> 1kmメッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点(緯度経度) <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報( )	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	忍び猟のみ
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟: のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟: わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日: 捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数<sup>※1</sup>：31 人日

事前調査人日数概数<sup>※2</sup>：0 人日

出猟（捕獲作業）人日数：31 人日

項目	令和4(2022)年 (事業年度の値)	令和3(2021)年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	31 人日	20 人日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数<sup>※1</sup>：133 人日

事前調査人日数概数<sup>※2</sup>：0 人日

出猟（捕獲作業）人日数：133 人日

項目	令和4(2022)年 (事業年度の値)	令和3(2021)年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数 (わな基×日数)	990 基日	785 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

① 銃器による捕獲

項目	令和4(2022)年 (事業年度の値)	令和3(2021)年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	50 頭	62 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
② 目撃数	302 頭	255 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	98% (49 頭/50 頭)	87% (54 頭/62 頭)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	2% (1 頭/50 頭)	10% (6 頭/62 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(銃器)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 <sup>※1</sup>	CPUE <sup>※2</sup>	SPUE <sup>※3</sup>
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 忍び猟	50 頭	31 人日	1.61 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少	9.74 頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ( )	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1: 作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2: CPUE=捕獲数/のべ人日数

※3: SPUE=目撃数/のべ人日数

③ わなによる捕獲

項目	令和4(2022)年 (事業年度の値)	令和3(2021)年 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	69 頭	65 頭	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)	68% (47 頭/69 頭)	75% (49 頭/65 頭)	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)	33% (23 頭/69 頭)	22% (14 頭/65 頭)	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少



令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別(わな)の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 <sup>※1</sup>	CPUE <sup>※2</sup>
<input type="checkbox"/> くくりわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	17 頭	550 基日	0.03 頭/基日 <input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな	52 頭	440 基日	0.12 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ( )	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUEは前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： 68 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

わな猟によって捕獲した個体については、捕獲個体の写真(通し番号をスプレー)及び尾により確認した。

(別添)

## 捕獲に関する概況地図（ニホンジカ）

- 図－1 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 捕獲位置
- 図－2 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE（ICT 箱わな）
- 図－3 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE（ICT 囲いわな）

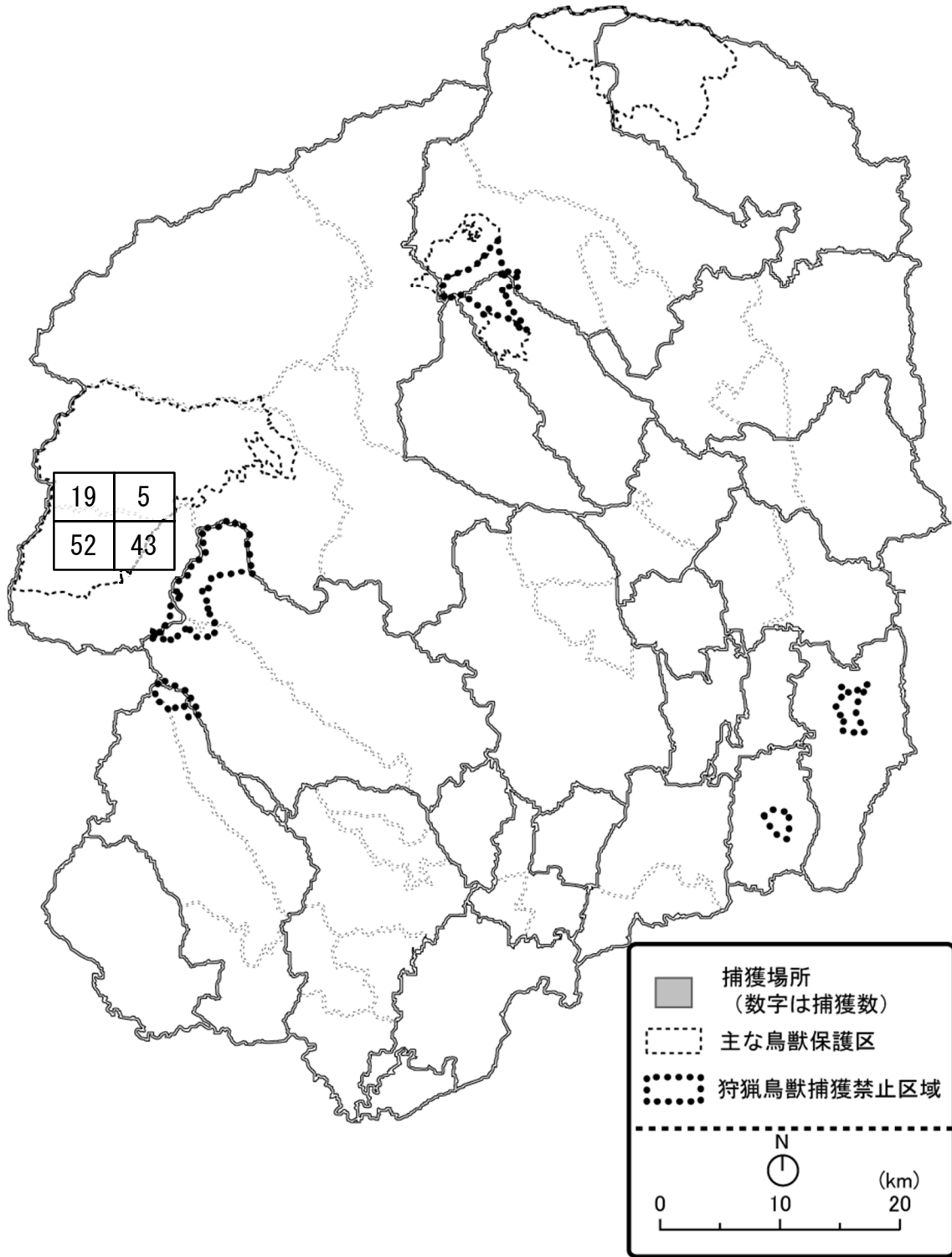
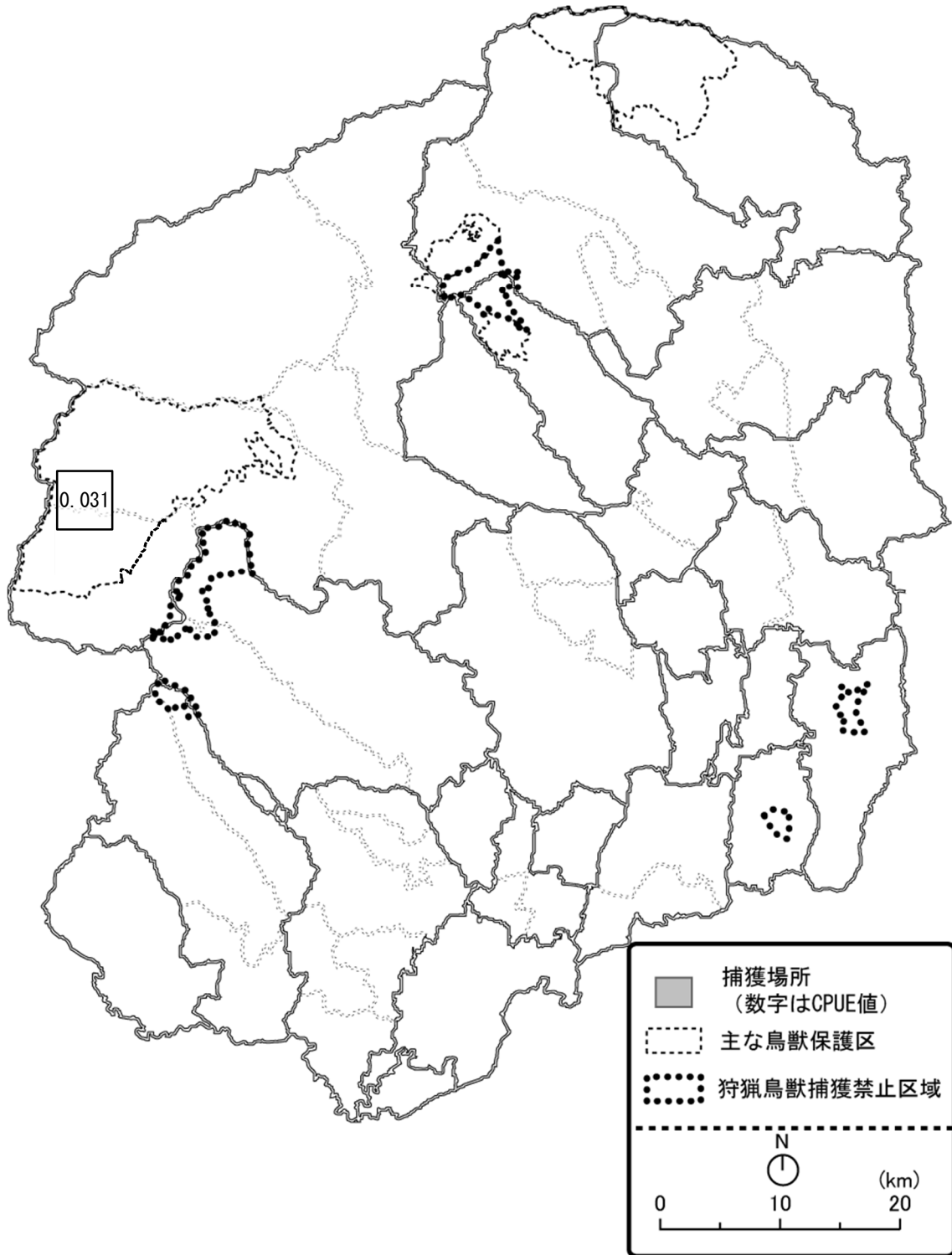


図-1 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 捕獲位置



図一 2 令和 4 (2022) 年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE (ICT 箱わな)

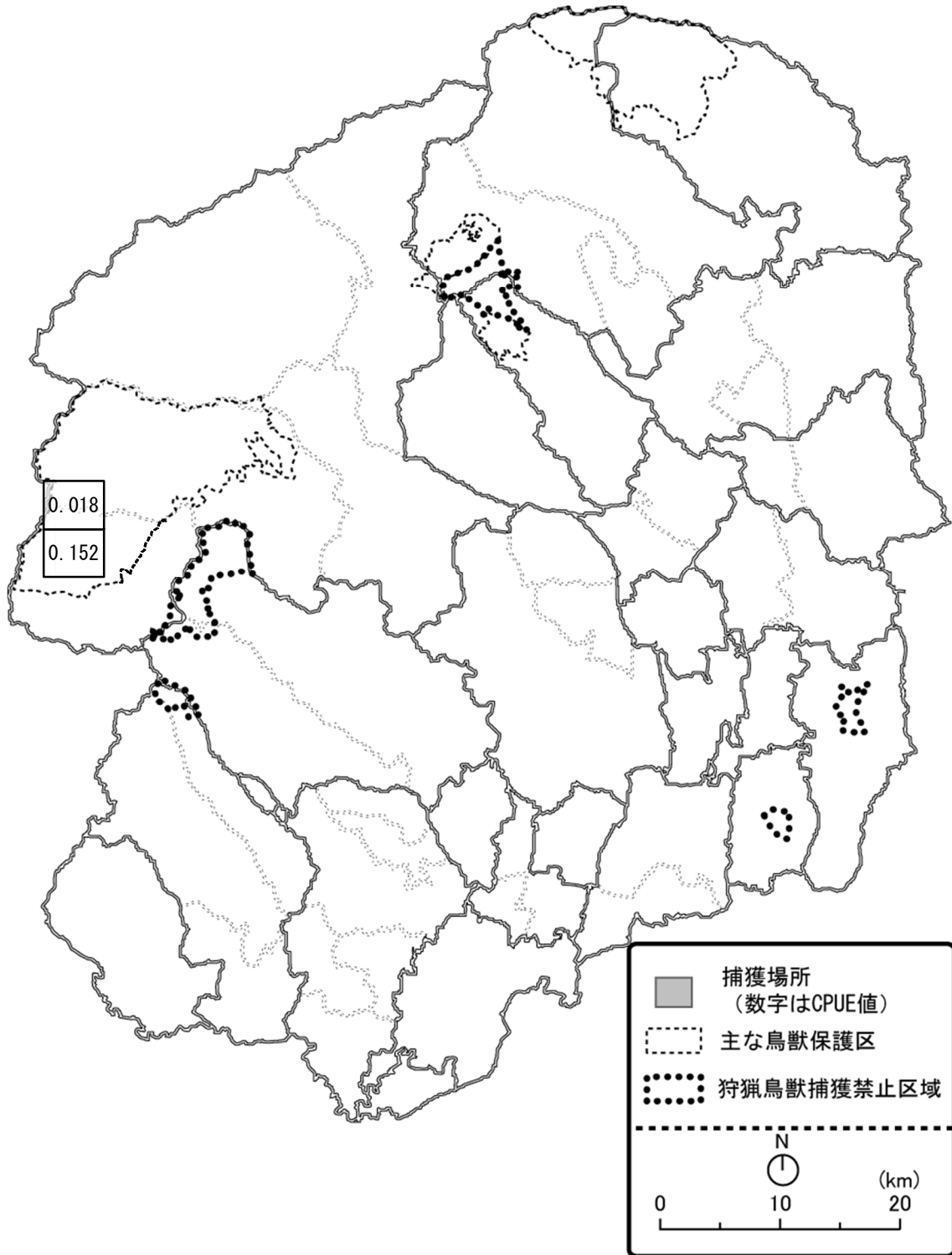


図-3 令和4(2022)年度指定管理鳥獣捕獲等事業 CPUE (ICT 囲いわな)